



明石町遺跡の近代建物址ほか



新川二丁目（第2次）遺跡の酒問屋の土蔵基礎



新川二丁目（第2次）遺跡出土の陶製リキュール瓶



新川二丁目（第2次）遺跡出土の便器や消臭用具ほか

平成30年(2018)は、明治元年(1868)を迎えてから150年になります。江戸時代後期から明治時代はじめにかけて、江戸幕府から明治政府への政権交代がおこなわれましたが、当時の中央区周辺は変わらず日本の中心地であり、文明開化に向けた動きが早くにみられました。

中央区では築地外国人居留地の開設や、銀座レンガ街の建設など、西洋化に向けた動きが進みました。ところが、元々町人地(庶民)の中心地として栄えていたため、土地利用が大きく変化した武家地とは対照的に、庶民の暮らしが残る場所も多くありました。

今回の企画展では武家地と町人地を中心に、区内の遺跡より出土した遺物から、中央区の文明開化前後の人々の暮らしについて紹介します。



中央区立郷土天文館（タイムドーム明石）
〒104-0044 東京都中央区明石町 12-1
（中央区保健所等複合施設 6階）
TEL：03-3546-5537

アクセス

地下鉄有楽町線 新富町（④⑥番出口）徒歩 10分
地下鉄日比谷線 築地駅（③④番出口）徒歩 7分